

平成29年度

熊野市清掃事業の概要

環境対策課

目 次

1.	処理区域の概況	1
2.	事業の沿革	2
3.	事務分掌	5
4.	清掃施設	6
5.	収集処理体制	7
6.	一般廃棄物処理業等許可事業者	8
7.	廃棄物処理区	9
8.	清掃関係当初予算及び決算	10
	[1] 当初予算	
	[2] 決算	
9.	ごみ処理実績	11
	[1] ごみ処理の状況	
	[2] ごみ処理量の推移	
	[3] 資源処理量の推移	
	[4] 生ごみ堆肥化量の推移	
	[5] 有馬不燃物処分場埋立量の推移	
10.	し尿処理実績	15
	[1] し尿処理量の推移	
11.	処理経費	16
	[1] ごみ処理経費	
	[2] し尿処理経費	

1.処理区域の概況

《平成28年10月1日現在》

面積：373.35 km²

人口：17,724 人

(旧熊野市地域:16,560人/旧紀和町地域:1,164人)

人口密度：47.47人/km²

世帯数：9,145 世帯



《ごみ収集》

- | | |
|---------|----------------|
| 海岸部・市街地 | ☆ 直営(環境対策課) |
| 山間部 | ☆ 委託((有)オクサラヤ) |
| 紀和町 | ☆ 直営(環境対策課) |

《浄化槽清掃・し尿汲み取り》

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 海岸部 | ☆ 許可業者((有)山洋清掃舎・(有)新鹿商会) |
| 市街地・山間部 | ☆ 許可業者((有)紀南清掃衛生社・(有)熊野清掃衛生舎) |
| 紀和町 | ☆ 許可業者((有)南清社) |

○ 海岸部…須野町・甫母町・二木島里町・二木島町・遊木町・新鹿町・波田須町・磯崎町

○ 山間部…育生町・神川町・五郷町・飛鳥町

○ 市街地…大泊町・木本町・井戸町・有馬町・久生屋町・金山町

※ 廃棄物の処理区域に関しては、住民の利便性・継続性を考慮して「旧熊野市区域」と「旧紀和町区域」の区分とする。

2.事業の沿革

旧熊野市区域

昭和	29年	11月	市制施行
昭和	38年	6月	熊野市衛生処理場(し尿処理施設)完成(20kl/日)
		10月	ごみ収集、ステーション方式となる(木本・井戸・有馬)
昭和	39年	7月	熊野市衛生処理場(ごみ焼却処理施設)完成(20t/日)
昭和	44年	10月	熊野市衛生処理場(し尿処理施設)増設(19kl/日) ※合計39kl/日
昭和	45年	11月	有馬不燃物埋立地開設
昭和	48年	4月	熊野市衛生処理場(ごみ焼却処理施設)改築(30t/日)
昭和	49年	1月	二木島焼却場完成(3t/日)
昭和	50年	7月	新鹿焼却場完成(4t/日)
昭和	52年	6月	飛鳥不燃物埋立地開設
昭和	54年	5月	遊木焼却場完成(3t/日)
昭和	55年	4月	熊野市衛生処理場(し尿処理施設)改築(20kl/日分)
昭和	58年	4月	五郷焼却場完成(6t/日)
		9月	山間部ごみ収集民間委託
昭和	60年	3月	飛鳥不燃物埋立地閉鎖
		7月	粗大ごみ収集開始
平成	元年	4月	二木島焼却場休止
平成	3年	9月	遊木町をモデル地区として資源ごみの収集を開始
平成	4年	4月	資源ごみ回収活動奨励金交付制度開始 生ごみ処理容器購入費補助金交付制度開始
		7月	コンパクト導入 海岸部で資源ごみの収集を開始
平成	5年	3月	不燃物埋立地に廃材焼却炉及び資源ごみ回収作業場完成
		7月	市内全域で資源ごみの収集を開始
		12月	空缶セパレータ導入 廃棄物減量等推進審議会委員委属(14名) 廃棄物減量等推進委員委属(20名)
平成	7年	3月	遊木・新鹿焼却処理施設廃止
		4月	有馬ごみ焼却処理施設完成 熊野市クリーンセンターと名称を変更 清掃部門の完全週休2日制実施 事業系ごみの有料化開始
平成	8年	3月	し尿処理施設整備改修工事完成
		3月	五郷焼却場休止
		7月	ビン類の分別収集開始
平成	8年	10月	熊野市分別収集計画作成
平成	9年	2月	遊木焼却場解体撤去

平成 9年	3月	し尿処理施設整備改修
	7月	ペットボトル拠点回収(市内4ヶ所)
	11月	ビン破碎機導入
平成 10年	3月	新鹿焼却場解体撤去
	4月	事業系埋められるごみの持込を安定2品目に限定 廃棄物手数料改正 フロン回収機設置 ペットボトルの分別収集開始(市内全域) 電気式生ごみ処理機購入費補助金交付制度開始
	3月	資源ごみ回収活動奨励金交付制度終了
	4月	指定ごみ袋導入(透明・半透明) トレー・布類の分別収集開始 燃えないごみを埋められないごみ・埋められるごみに細分化 ごみ収集業務の塵芥収集車乗員2人体制
平成 11年	6月	焼却灰ストックヤード設置 焼却残渣を伊賀市(旧上野市)の民間業者に処理委託
	7月	粗大ごみの収集を原則持込みに変更(有料収集制度併設)
	4月	乾電池、電球、蛍光灯、スプレー缶、カセットガスボンベの5品目を新たに 有害・危険ごみに細分化 家庭系の埋められるごみの収集を安定2品目とする
平成 12年	7月	資源ごみ分別作業用施設(テント)完成
	3月	事業系生ごみ処理施設設置
平成 13年	4月	家電リサイクル法施行による家電4品目の有料処理開始 粗大ごみの有料処理開始
	6月	不燃物処分場緑化事業(クスノキ、シラカシ植栽)
	3月	焼却灰ストックヤード増設 不燃物処分場緑化事業(カイズカイブキ植栽)
平成 14年	11月	事業系生ごみ処理施設本稼動
	3月	し尿処理施設汚泥処理設備改造工事完成
平成 15年	4月	その他紙容器の分別収集開始
	9月	飛鳥町・五郷町をモデル地区として廃食用油の収集を開始
	3月	資源化ストックヤード設置
平成 16年	4月	畳・布団・カーペット・木材等、規定サイズを越えるものを粗大ごみに分類 毛布・発泡スチロールの分別収集開始
	9月	市内全域で廃食用油の収集を開始
平成 17年	4月	草・木の持込ごみを資源ごみとして受入開始

熊野市（合併後）

平成	17年	11月	熊野市と南牟婁郡紀和町が合併し、新「熊野市」誕生
平成	19年	8月	二木島焼却場一部解体撤去
平成	20年	4月	旧紀和地区における粗大ごみの収集を原則持込みに変更
平成	20年	11月	全市民によるごみ拾い運動開始
平成	23年	9月	台風12号により災害廃棄物が発生(約5,000t)
平成	23年	9月	台風12号災害により紀和し尿処理場機能停止
平成	24年	5月	発泡スチロール減溶機を導入
平成	25年	10月	し尿処理場(19kl)建て替えのため撤去
平成	27年	8月	し尿処理場(20kl)建て替えのため撤去
平成	27年	10月	熊野市ごみ減量化市民行動計画策定
平成	28年	4月	熊野市クリーンセンター汚泥再生処理施設稼働
平成	28年	4月	資源プラスチック類の分別収集開始

3.事務分掌

旧熊野市区域

- ① 焼却処理業務（４人）
 - ◇ 熊野市クリーンセンターごみ焼却施設の運転管理に関する事。
 - ② 収集運搬業務
 - ◇ ごみ収集車の運転管理に関する事。
 - ◇ ごみ収集に関する事。
 - ③ 不燃物処分場業務
 - ◇ 有馬不燃物処分場の管理に関する事。
 - ④ 資源処理業務
 - ◇ 資源収集及び資源化に関する事。
- (②、③、④の業務については、２１人の職員の交替制による)
- ⑤ し尿処理業務（４人）
 - ◇ 熊野市クリーンセンター汚泥再生処理施設及び紀和し尿処理場の運転管理に関する事。

旧紀和町区域

- ① 収集運搬業務（４人）
 - ◇ ごみ収集車の運転管理に関する事。
 - ◇ ごみ収集に関する事。
 - ◇ 資源収集及び資源化に関する事。

4. 清掃施設

ごみ処理関係 (中間処理施設)

施設名	所在地	処理能力 (t/日)	事業開始	総事業費 (千円)	土地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
熊野市クリーンセンター (ごみ処理施設)	有馬町5233	30	平成7年4月	1,512,109	2,600	1,610
紀和リサイクルセンター	紀和町板屋134	-	平成14年4月	23,625	1,427	270

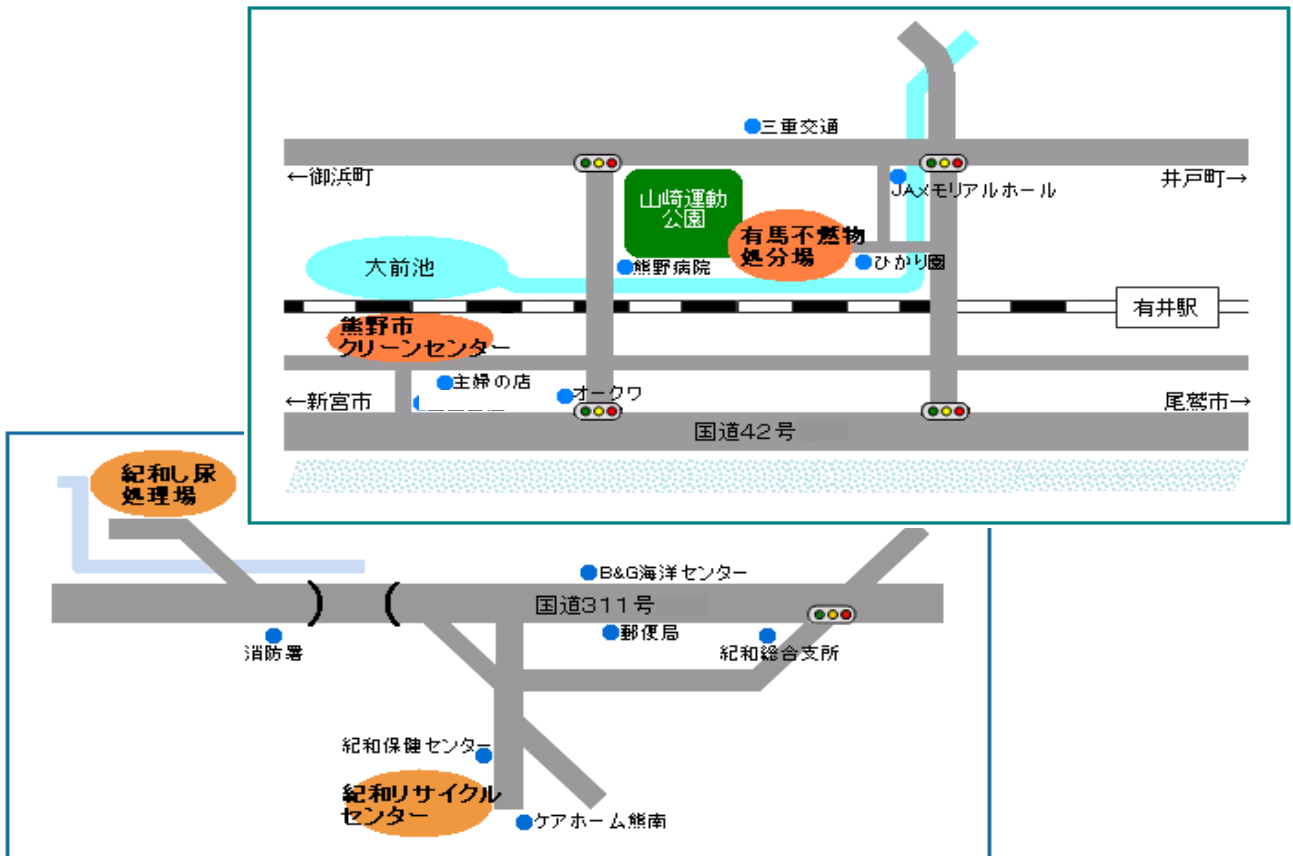
(最終処分場)

施設名	所在地	処理能力 (t/日)	事業開始	総事業費 (千円)	土地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
有馬不燃物処分場	有馬町 4520-313	-	昭和45年11月	-	74,000	-

し尿処理関係

施設名	所在地	処理能力 (kl/日)	事業開始	総事業費 (千円)	土地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
熊野市クリーンセンター (汚泥再生処理施設)	有馬町5233	40	平成28年4月	1,585,500	2,689	1,908
紀和し尿処理場	紀和町小川口 12-1	4	昭和58年8月	88,270	-	-

※平成23年9月の台風12号災害以降処理機能停止



5.収集処理体制

区分	区域	処理主体				収集回数	収集方式
		収集運搬	中間処理	資源化	最終処分		
可燃ごみ	市街地 海岸部	市	市	—	—	週2回	ステーション
	山間部	委託※2	市	—	—		
	紀和町	市	組合※1	—	—	週1回 (入鹿地区:週2回)	
不燃ごみ	市街地 海岸部	市	市	—	市	埋められないごみ:月1回 埋めてもよいごみ:2月1回 有害・危険ごみ:2月1回	
	山間部	委託※2	市	—	市		
	紀和町	市	—	—	組合※1		
資源	市街地 海岸部	市	—	市	—	月4回	
	山間部	委託※2	—	市	—		
	紀和町	市	—	市	—		
資源プラスチック	市街地 海岸部	市	—	—	—	月2回	ステーション
	山間部	委託	—	—	—		
	紀和町	市	—	—	—		
粗大ごみ	紀和町 以外	市	市	—	—	月3回	戸別
	紀和町	市	—	—	組合※1	随時	戸別
直接搬入ごみ	市全域	—	市	市	市	—	—

※1

南牟婁清掃施設組合

施設名	所在地	処理能力 (t/日)	事業開始	土地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
紀南清掃センター (RDF化施設)	南牟婁郡御浜町大字阿田和 2053番地	23	平成14年	30,700	3,700
一般廃棄物最終処分場	南牟婁郡御浜町大字片川629 番地	60(平均)	平成3年	21,984	—

※2

山間部収集委託業者

事業者名	所在地	車両台数
有限会社 オクサラヤ	熊野市神川町長原29番地	パッカー車2台、ダンプ1台、軽トラック1台

6.一般廃棄物処理業等許可事業者

一般廃棄物収集運搬業

平成29年7月31日現在

許可業者名	代表者	所在地
有限会社 前田商店	代表取締役 前田増行	熊野市有馬町5004番地6
有限会社 熊野保全サービス	代表取締役 内山義恒	熊野市木本町804番地
有限会社 紀南清掃衛生社	代表取締役 砥屋孝郎	熊野市井戸町541番地6
有限会社 熊野清掃衛生舎	代表取締役 鈴木康仁	熊野市有馬町309番地2
有限会社 山洋清掃舎	代表取締役 濱本圭司	熊野市有馬町1742番地3
有限会社 新鹿商会	代表取締役 鈴木修次	熊野市新鹿町24番地2
株式会社 JPハイテック 北山川事務所	所長 柴田隆司	吉野郡下北山村下池原751番地
熊野リサイクルセンター 寺本農園	代表 寺本忠治	熊野市木本町708番地2
熊野小型運送 株式会社	代表取締役 青沼稔	新宮市あけぼの4番1号
有限会社 尾鷲環境開発	取締役 入江司	尾鷲市矢浜2丁目8番22号
前田賢次	-	新宮市新宮4643番地の1
有限会社 南清社	代表取締役 小倉啓一	新宮市池田1丁目3番29号
株式会社 ナカミチ建機サービス	代表取締役 有城正剛	南牟婁郡紀宝町神内1261番地2
森川悟美	-	熊野市井戸町319番地10
関西フーズ株式会社	代表取締役 前田真次	新宮市新宮2624番地
朴商店 朴 達圭	-	北牟婁郡紀北町海山区相賀140番地13
株式会社 神志山	代表取締役 上地充男	南牟婁郡御浜町大字志原1752番地2
田中建設株式会社	代表取締役 田中 肇	新宮市新宮4602番地の1

一般廃棄物処分業

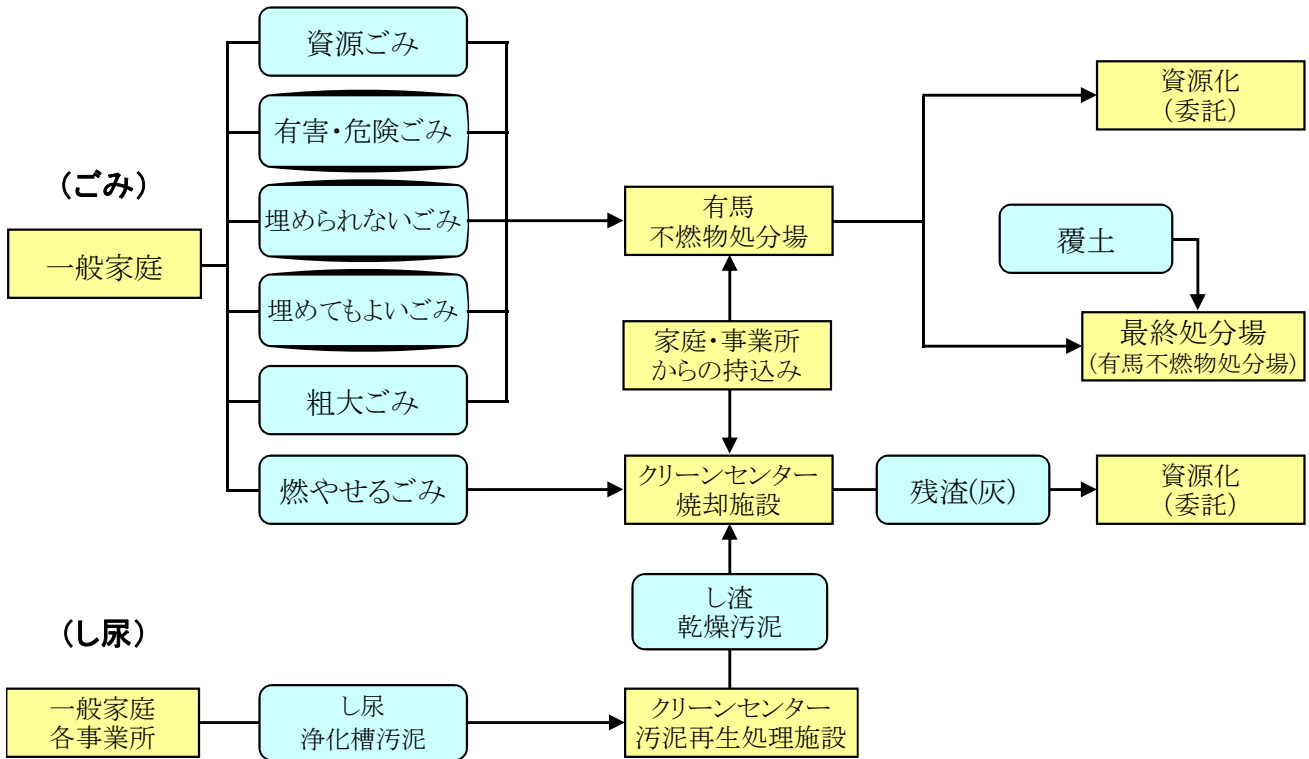
許可業者名	代表者	所在地
株式会社 JPハイテック 北山川事務所	所長 柴田隆司	吉野郡下北山村下池原751番地

浄化槽清掃業

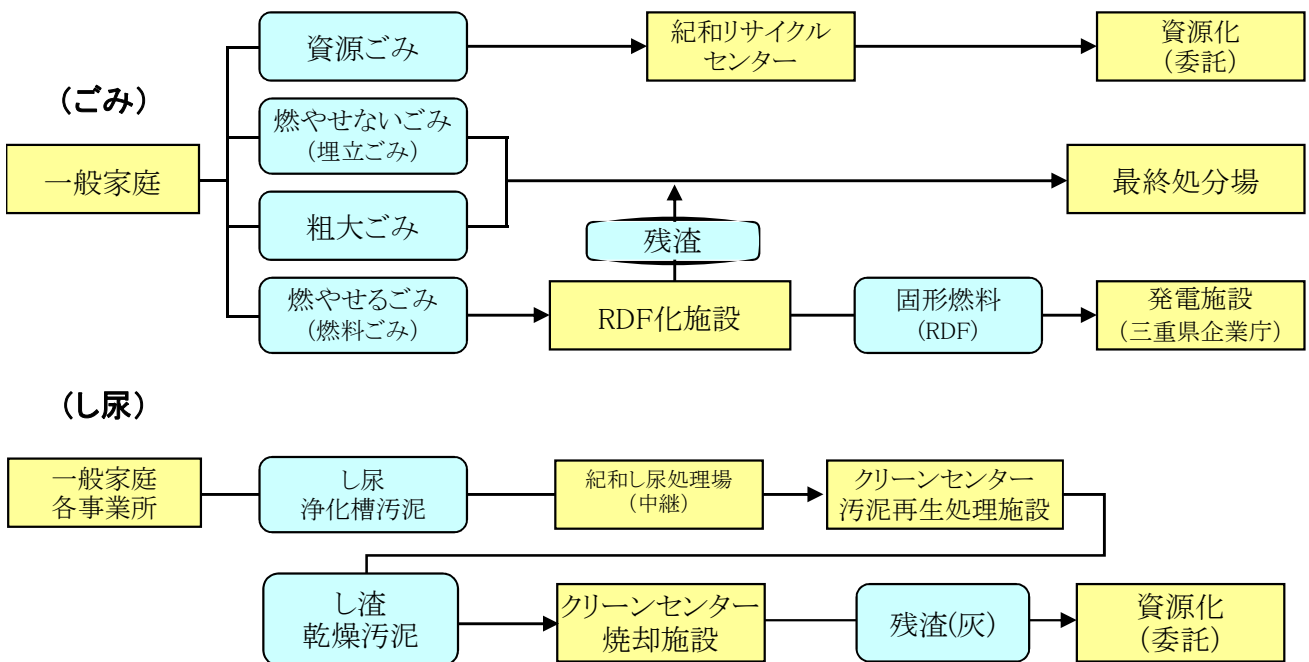
許可業者名	代表者	所在地
有限会社 紀南清掃衛生社	代表取締役 砥屋孝郎	熊野市井戸町541番地6
有限会社 熊野清掃衛生舎	代表取締役 鈴木康仁	熊野市有馬町309番地2
有限会社 山洋清掃舎	代表取締役 濱本圭司	熊野市有馬町762番地38
有限会社 新鹿商会	代表取締役 鈴木修次	熊野市新鹿町24番地2
有限会社 南清社	代表取締役 小倉啓一	新宮市池田1丁目3番29号

7. 廃棄物処理図

旧熊野市区域



旧紀和町区域



8.清掃関係当初予算及び決算

[1]当初予算

年度	25	26	27	28	29
一般会計当初予算 (千円)	12,728,299	13,058,080	12,711,648	12,830,058	12,652,886
内 環境対策費 (千円)	905,502	1,503,142	1,270,320	781,321	754,934
内 清掃事業費 (千円)	457,668	493,048	510,061	505,341	479,752
内 人件費 (千円)	170,692	167,285	169,249	167,339	168,161
内 運営費 (千円)	286,976	325,763	340,812	338,002	311,591
一般会計に占める環境対策費の割合 (%)	7.1	11.5	10.0	6.1	6.0
一般会計に占める清掃事業費の割合 (%)	3.6	3.8	4.0	3.9	3.8
一般会計前年比 (%)	90.0	102.6	97.3	100.9	98.6
清掃予算前年比 (%)	86.8	107.7	103.5	99.1	94.9
清掃事業費に占める人件費の割合 (%)	37.3	33.9	33.2	33.1	35.1
清掃事業費に占める運営費の割合 (%)	62.7	66.1	66.8	66.9	64.9

[2]決 算

年度	25	26	27	28
一般会計決算額 (千円)	13,421,558	12,924,929	12,539,566	12,111,215
内環境対策費 (千円)	849,149	1,293,647	1,350,045	700,412
内 清掃事業費 (千円)	428,149	460,300	467,857	451,512
内 人件費 (千円)	168,927	167,086	167,529	163,331
内 運営費 (千円)	259,222	293,214	300,328	288,181
一般会計に占める環境対策費の割合 (%)	6.3	10.0	10.8	5.8
一般会計に占める清掃事業費の割合 (%)	3.2	3.6	3.7	3.7
一般会計前年比 (%)	102.4	96.3	97.0	96.6
清掃予算前年比 (%)	88.9	107.5	101.6	96.5
清掃事業費に占める人件費の割合 (%)	39.5	36.3	35.8	36.2
清掃事業費に占める運営費の割合 (%)	60.5	63.7	64.2	63.8

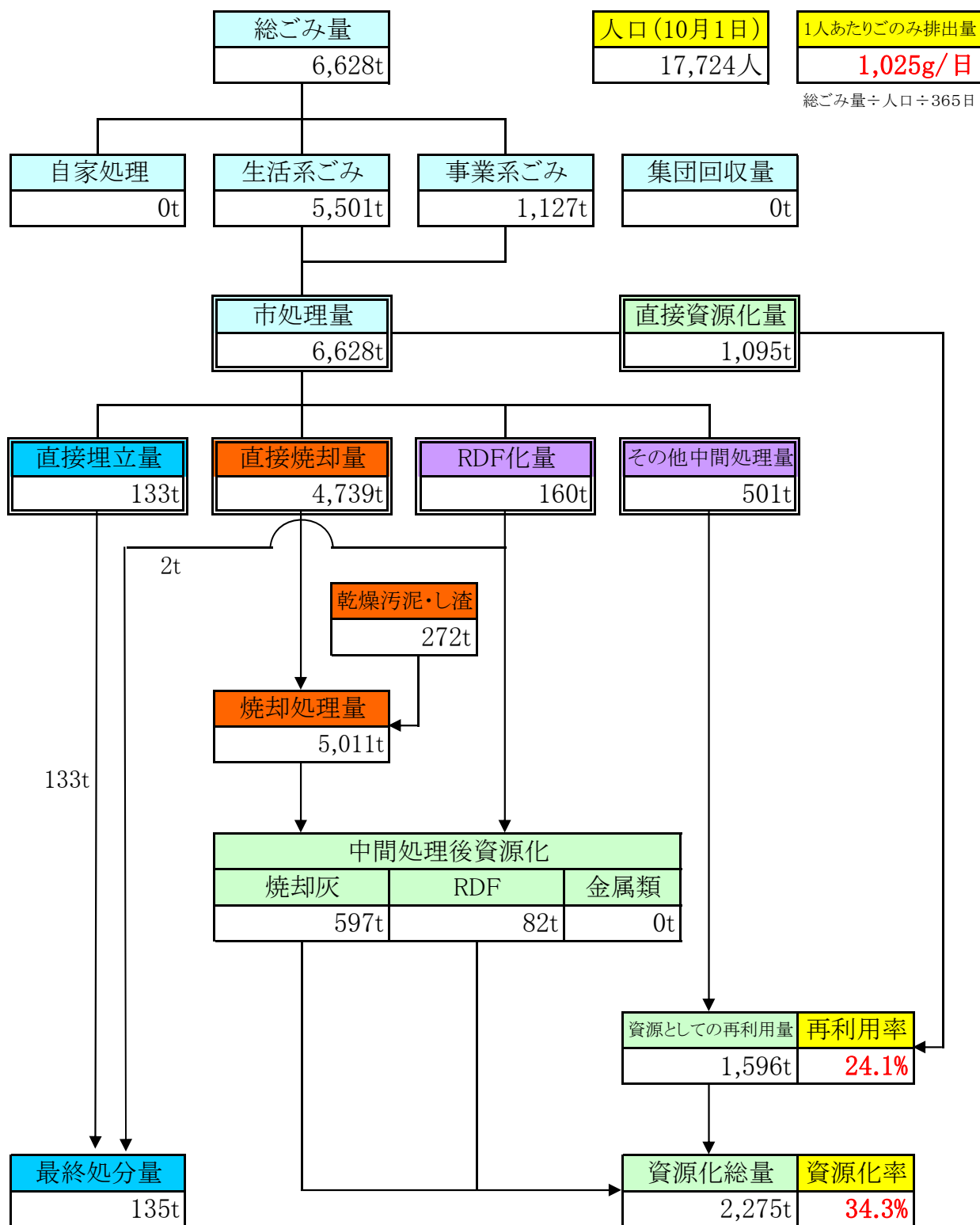
※1. 環境対策費に火葬場費は含まない

※2. 環境対策費から清掃事業に関連しない事業を差引いたものが清掃事業費となっている

※3. 人件費には臨時雇用賃金も含まれている

9.ごみ処理実績

[1] ごみ処理の状況



[2] ごみ処理量の推移

燃やせるごみ ※燃やせるごみ、燃料ごみ 単位:t

年度		23	24	25	26	27	28
旧熊野市	収集	3,919.84	3,802.85	3,781.84	4,043.99	3,779.52	3,501.15
	持込	1,441.31	1,202.86	1,370.08	1,403.89	1,439.45	1,238.09
旧紀和町	収集	244.22	214.01	207.84	203.46	199.56	160.30
合計		5,605.37	5,219.72	5,359.76	5,651.34	5,418.53	4,899.54

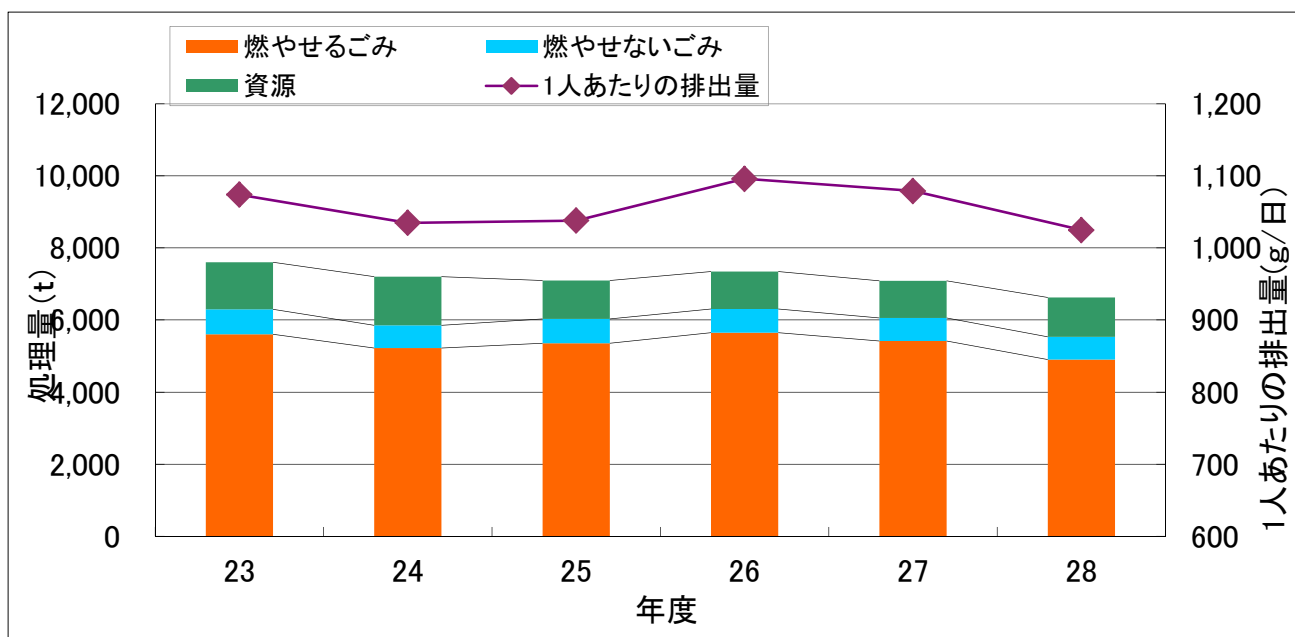
燃やせないごみ ※埋めてもよいごみ、埋められないごみ、危険・有害ごみ、粗大ごみ、埋立ごみ

年度		23	24	25	26	27	28
旧熊野市	収集	283.44	200.32	214.13	189.78	189.67	179.17
	持込	264.08	361.17	403.31	415.80	407.91	417.01
旧紀和町	収集	143.68	71.23	53.46	47.98	41.64	37.64
合計		691.20	632.72	670.90	653.56	639.22	633.82

資源 ※缶・びん・ペットボトル・トレー類、紙類、布類・布団、廃食用油

年度		23	24	25	26	27	28
旧熊野市	収集	1,035.36	1,000.42	957.76	927.08	875.87	879.53
	持込	195.64	263.65	37.47	43.82	87.30	141.16
旧紀和町	収集	75.40	84.50	72.20	74.10	71.04	74.44
合計		1,306.40	1,348.57	1,067.43	1,045.00	1,034.21	1,095.13

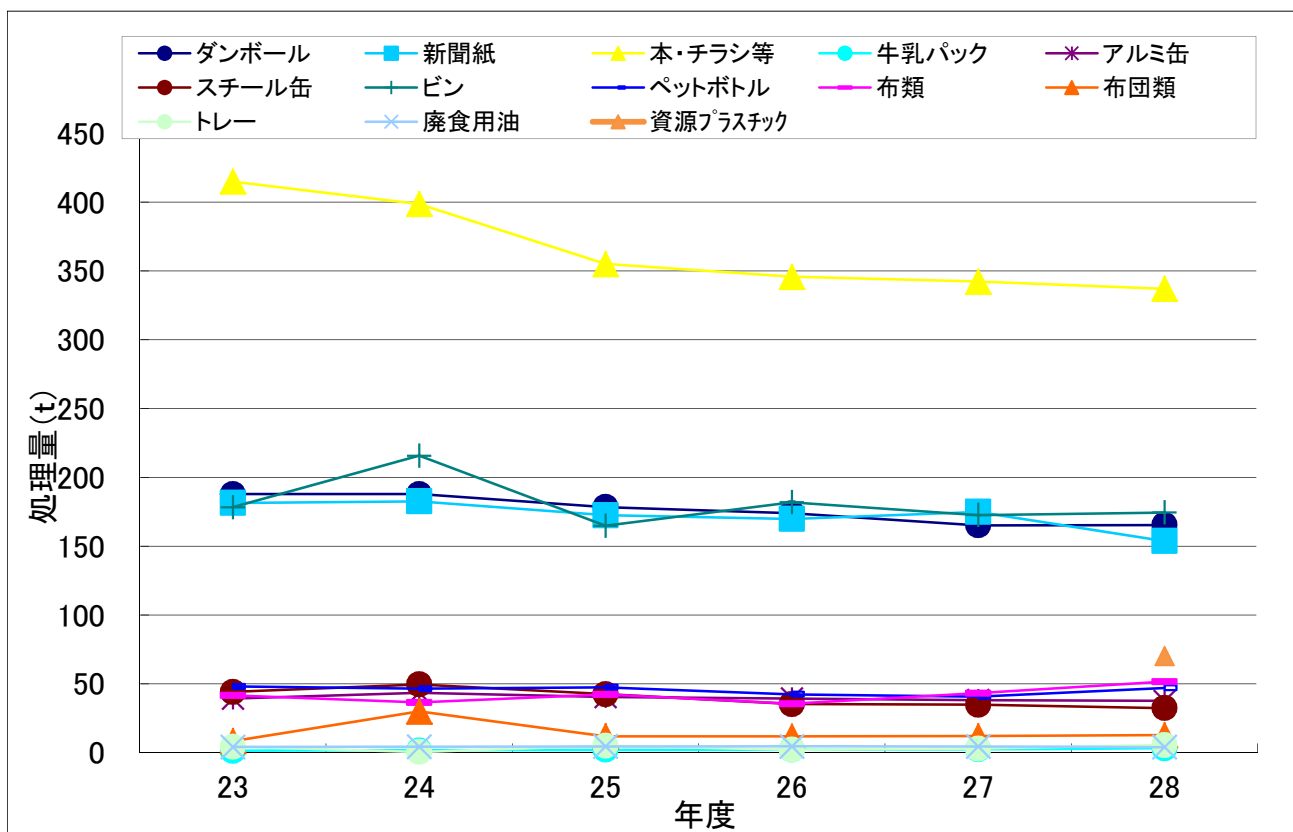
ごみ総排出量	7,602.97	7,201.01	7,098.09	7,349.90	7,091.96	6,628.49
1人あたりの排出量(g/日)	1,074	1,035	1,038	1,096	1,079	1,025



[3] 資源処理量の推移

単位:t

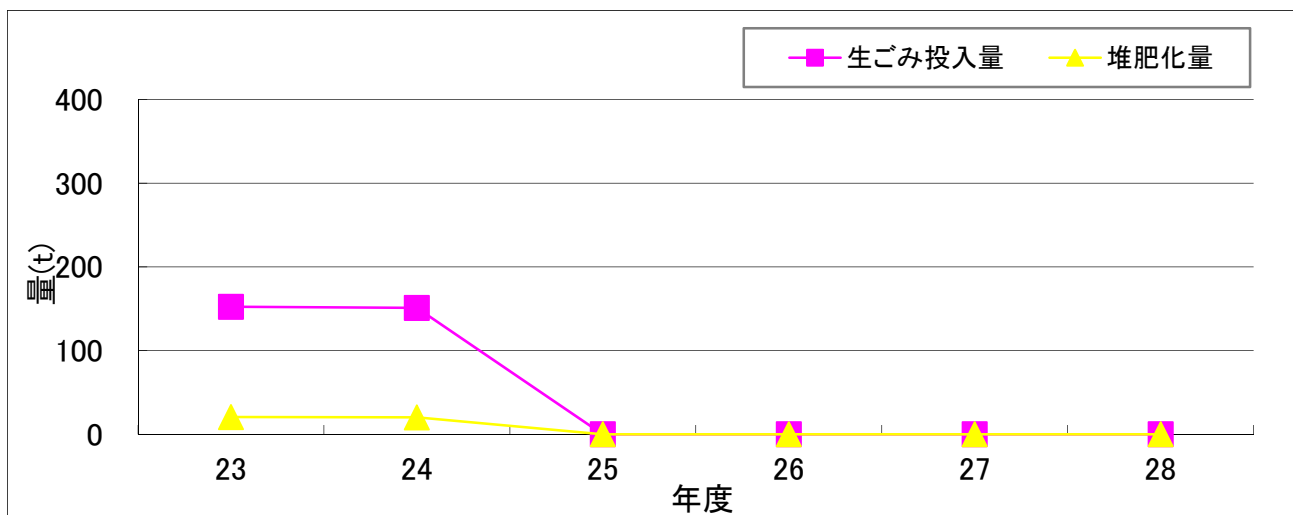
年度	23	24	25	26	27	28
ダンボール	187.90	187.90	178.43	173.94	165.17	165.46
新聞紙	181.45	182.64	172.58	169.91	174.94	153.86
本・チラシ等	415.07	398.80	355.15	345.84	342.33	337.12
牛乳パック	1.31	1.54	2.11	2.18	2.44	3.25
アルミ缶	39.29	43.57	40.37	39.38	38.22	37.66
スチール缶	44.15	49.64	42.52	35.34	34.88	32.44
ビン	178.41	215.82	164.83	181.95	172.66	174.48
ペットボトル	48.05	46.48	47.50	42.41	40.80	47.06
布類	41.59	36.42	42.31	35.49	43.22	51.56
布団類	8.40	29.95	11.97	11.78	12.05	12.71
トレー	4.34	0.55	5.11	2.18	3.01	5.50
廃食用油	4.10	4.24	4.56	4.60	4.48	3.99
資源プラスチック						70.04
合計	1,154.06	1,197.55	1,067.44	1,045.00	1,034.20	1,095.13



[4] 生ごみ堆肥化量の推移

単位:t

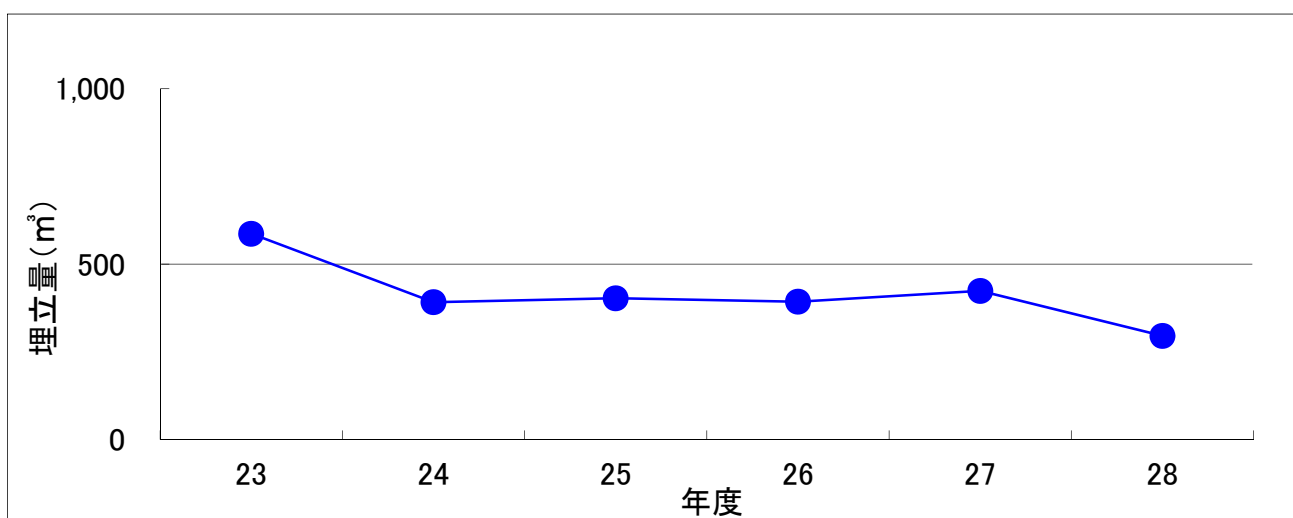
年度	23	24	25	26	27	28
生ごみ投入量	152.34	151.02	0.00	0.00	0.00	0.00
堆肥化量	20.56	20.21	0.00	0.00	0.00	0.00



[5] 有馬不燃物処分場埋立量の推移

単位:m³

年度	23	24	25	26	27	28
埋められるごみ	86.72	91.59	102.70	92.91	104.66	95.54
覆土	500.00	300.00	300.00	300.00	319.00	200.00
合計	586.72	391.59	402.70	392.91	423.66	295.54

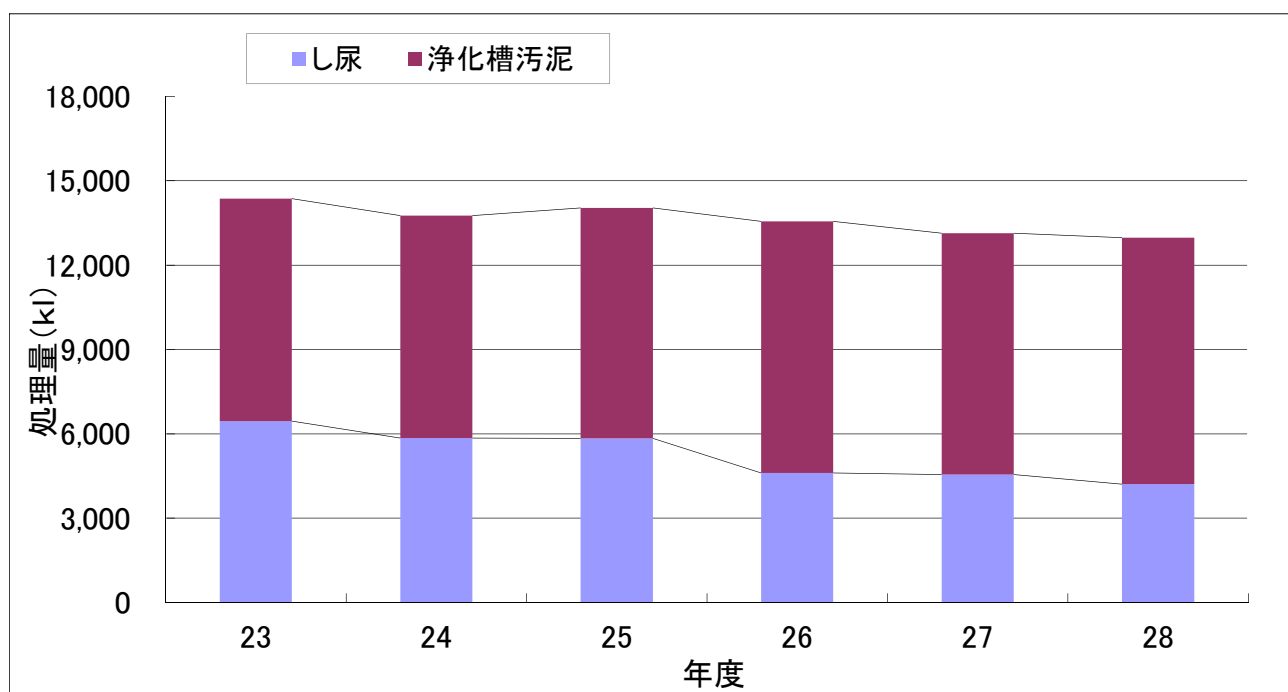


10.し尿処理実績

[1] し尿処理量の推移

単位:kl

年度		23	24	25	26	27	28
し尿	旧熊野市	6,051.7	5,491.1	5,473.2	4,228.6	4,187.5	3,896.7
	旧紀和町	395.9	362.6	360.0	378.9	365.5	310.7
	合計	6,447.5	5,853.7	5,833.2	4,607.5	4,553.0	4,207.4
浄化槽汚泥	旧熊野市	7,290.1	7,314.6	7,548.0	8,314.6	8,028.2	8,121.5
	旧紀和町	626.2	599.6	652.1	635.8	560.1	647.2
	合計	7,916.3	7,914.2	8,200.1	8,950.4	8,588.3	8,768.7
合計		14,363.9	13,767.9	14,033.2	13,557.9	13,141.3	12,976.1



11.処理経費

[1] ごみ処理経費

【平成28年10月1日現在人口】

部門	人件費 (千円)	運営費 (千円)	合計 (千円)	処理量 (t)	1t当りの 経費(円)	1人当りの 経費(円)
収集運搬部門	51,557	39,969	91,526	4,832	18,942	5,164
焼却処理部門 (旧熊野市区域)	22,473	143,956	166,429	5,011	33,213	10,050
RDF化部門 (旧紀和町区域)	0	27,197	27,197	160	169,981	23,365
最終処分部門	3,305	5,068	8,373	133	62,955	472
資源化部門	26,441	32,178	58,619	1,596	36,729	3,307
合計	103,776	248,368	352,144	—	—	15,051

※1人当たりの経費算出合計には、維持補修工事費は含まれていません

[2] し尿処理経費

部門	人件費 (千円)	運営費 (千円)	合計 (千円)	処理量 (kl)	1kl当りの 経費(円)	1人当りの 経費(円)
し尿処理部門	17,228	31,208	48,436	12,978	3,732	2,733